

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 小坂井商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考							
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価									
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業評価側の評価	自己評価	調査結果			満足度	必要性	補足	目標①	目標②		
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業所を中心に経営指導員等商工会職員が事業所を訪問、または窓口において経営全般について様々な相談に対応することにより、経営及び技術の改善を図り、健全な企業の育成をするとともに創業予定者をはじめとした相談窓口の設置により経営改善に資する指導をする。	〔巡回窓口指導延件数〕466件 〔巡回窓口指導実企業〕189件 〔課題解決提案件数〕10件 〔経営革新承認件数目標〕0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 150.3%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)			当初の計画を上回る数の事業所に対して経営支援を行うことができ、多くの事業所に対し実質的な支援を届けことができた。支援内容は事業所ごとの状況に応じて柔軟に対応し、商工会全体での意見交換を通じて、より具体的かつ実践的な提案を行った。その結果、それぞれの経営課題に沿った支援が実現し、実際の改善や前向きな取組につながった。こうした継続的な取組により、商工会の支援体制が地域の事業所にしっかりと機能していることが確認された。	総合評価	A	事業評価側の評価	自己評価	事業所への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今年度は経営指導員が定員に戻るため目標値を上げるとともに引き続き、事業所ごとの状況に応じた個別支援を強化し、実効性のある提案を継続する。また、より多くの事業所に支援が届くよう、情報発信の工夫や訪問頻度の見直しなど、支援体制のさらなる充実を図る。
				目標数値	310	実績数値	466	目標数値	10	実績数値	10					A		A		A	必要性	
記帳継続指導	商工会契約税理士又は商工会職員が個人事業主を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自主記帳や計数管理による経営力の向上に結びつける。	記帳継続指導、源泉所得税、決算・確定申告の指導の実施〔指導対象事業所数〕54事業所 〔指導延回数〕711回 〔指導延日数〕412日	小規模事業者	指標	指導対象事業所数 (達成度 101.9%)			指標	課税指導件数 (達成度 %)			定額減税の実施により、例年行っている記帳指導と決算・確定申告支援に加えて、税制改正に関連する幅広い支援を行うことができた。インボイス制度に関する相談も増加し、各事業所が抱える具体的な疑問や不安に対して丁寧に、適切な提案を行った。これらにより、事業所ごとの状況に応じたきめ細かな支援が可能となり、信頼の向上や支援体制の充実につながった。	総合評価	A	事業評価側の評価	自己評価	事業所への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き税制改正への対応力を高め、最新情報の周知と相談対応を強化する。今後は相談件数の増加を見据え、説明会の開催や資料の整備など、効率的な支援体制づくりにも取り組む。
				目標数値	53	実績数値	54	目標数値		実績数値						A		A		A	必要性	
講習会事業	多様化する経営資源に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融、税務、経理、労働、情報化等の知識習得や時事的な問題について啓蒙を図り、必要な講習会の提供と参加者の資質向上を目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 〔集団〕6回 〔受講者数〕23人 〔個別〕11回 〔回数〕11回 〔受講者数〕30人	小規模事業者	指標	講習会開催回数 (達成度 85.0%)			指標	講習会参加者数 (達成度 46.5%)			経営一般に加え、情報化や税務など、R6年度の情勢を踏まえた内容で複数の講習会を実施した。内容はいずれも事業所にとって実務に役立つものであり、参加者からは高い評価が得られた。一方で、全体的な参加者数は想定より少なく、今後はより多くの事業所に参加してもらえよう、告知方法や開催時期等について見直しを図る必要がある。	総合評価	B	事業評価側の評価	自己評価	事業所への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	実務に直結する内容を維持しつつ、告知方法や開催時期の工夫により参加者の増加を図る。オンライン活用や案内手段の多様化も視野に入れ、参加しやすい環境づくりを進める。
				目標数値	20	実績数値	17	目標数値	114	実績数値	53					B		A		A	必要性	
地域振興事業（地域振興まつり事業）	地域イベント「こざかいまつり」を10月に開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域産業のPRの場を提供するとともに地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	こざかいまつりの開催〔出店事業所数〕34事業所 ※市などの出店を除く	小規模事業者	指標	出店事業所数 (達成度 170.0%)			指標	参加者数 (達成度 %)			多くの事業所が参加したことで、地域全体の活気につながった。子供から大人まで幅広い世代の地元住民が参加し、地域のつながりを感じられるイベントとなった。参加者からも「楽しかった」「また参加したい」といった声が多く寄せられ、大変好評であった。	総合評価	A	事業評価側の評価	自己評価	事業所への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も地域全体を巻き込むイベントを継続し、参加者をさらに広げるため、告知方法を工夫する。また、参加者のフィードバックを元に、さらに魅力的な内容や体験を提供できるよう改善を加えていく。
				目標数値	20	実績数値	34	目標数値		実績数値						A		A		A	必要性	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて事業主に代わって労働保険料の申告納付に関する各種届出等の事業手続きを行うことにより小規模事業者等の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	〔委託事業所数〕57件	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 96.6%)			指標	労働保険料未納件数 (達成度 %)			労働保険に関する委託業務を実施し、新たに事業を開始した事業所や、今後従業員の雇用を予定している事業所に対しても、労働保険の制度や手続きについて丁寧に説明を行った。それにより、事業所側が必要な手続きや対応すべき内容を把握することができ、事前の準備や理解を深める機会となった。	総合評価	A	事業評価側の評価	自己評価	事業所への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も新規事業所や雇用予定の事業所への早期対応を継続し、制度理解を促進する。資料を充実させ、さらにわかりやすい情報提供に努める。
				目標数値	59	実績数値	57	目標数値		実績数値						A		A		A	必要性	

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 小坂井商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考				
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等					
				指標	実績数値	指標	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	必要性	目標①		目標②			
青年部・女性部事業	青年部・女性部それぞれの事業を通じ、地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	【青年部】 事業参加者数 359人 【女性部】 事業参加者数 131人	小規模事業者	指標	事業参加者数 (達成度 102.1 %)		指標	%		1年を通して多くの事業を実施し、それぞれの事業について内容を見直しながら進めることで、より内容の充実した取組とすることができた。また、部員全体で協議し、企画から実施までの過程を振り返る中で、次回に向けた改善点を共有し合うことができた。こうした取組を通じて、事業運営に必要な検討や見直しの大切さを学ぶ良い機会にもなった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	必要性	目標①	目標②	今後も事業ごとの振り返りを重ねながら、部員間での意見交換を活かし、より効果的な取組を目指す。企画・実施のプロセスを通じて得た学びを次年度の活動に反映していく。
		目標数値		480	実績数値	490	目標数値	実績数値	目標達成度				A	A	下げる	下げる	実施方法①	実施方法②	
福利厚生事業	小規模事業主等の経営・雇用の地域区別の安定を図るため各種共済制度の普及・健康診断事業の実施等により、事業所の健全な育成を目的とする。	中小企業共済、愛知火災共済等共済制度の普及推進 【全体】 228件 【小規模企業共済】 130件 【中小企業倒産防止共済】 5件 【特定退職金共済】 1件 【中小企業共済】 87件 【中小企業退職金共済】 5件	小規模事業者	指標	各種共済加入件数 (達成度 93.1 %)		指標	%		多くの事業所が、従業員の福利厚生に役立つ共済制度に加入することができた。また、事業主自身の将来に備える退職金制度などもあわせて紹介し、共済制度を通じて、経営において長期的な視点を持つきっかけとなった。こうした制度の活用により、事業所全体の安定や継続性への意識が高まった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	必要性	目標①	目標②	今後も共済制度の周知を継続し、制度のメリットをより具体的に伝えることで加入促進を図る。事業所の安定経営につながる情報提供や相談対応にも力を入れていく。
		目標数値		245	実績数値	228	目標数値	実績数値	目標達成度				B	A	現行どおり	現行どおり	実施方法①	実施方法②	
部会・委員会事業	商業部会、工業部会が事業を行うことにより、参加企業の発展に寄与することを目的とする。	【商業部会】 商業関連事業の検討及び運営（会議、委まつり大売出し・出店、商工会視察事業） 【参加企業数】 15事業所 【工業部会】 工業関連事業の検討及び運営（会議、商工会視察事業） 【参加企業数】 11事業所	小規模事業者	指標	参加企業数 (達成度 34.7 %)		指標	%		商業部会では、委まつりにあわせて大売出しと抽選会を実施し、地元商店の賑わいづくりに貢献することができた。工業部会では、会議での協議をもとに商工会全体の名簿を作成・配布する取り組みを進め、企画から実施までを一貫して行うことができた。いずれの活動も、部会の目的に沿った意義あるものとなった。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価	調査結果	満足度	必要性	目標①	目標②	今後も各部会の特性を活かした取組を継続し、地域や会員のニーズに応じた活動を展開していく。各事業の成果を振り返りながら、より効果的な実施方法や連携のあり方を検討していく。
		目標数値		75	実績数値	26	目標数値	実績数値	目標達成度				C	A	下げる	下げる	実施方法①	実施方法②	
経営強化事業（エスクラブ事業）	新時代に即応した商工会活動への協力、ならびに地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	経営セミナー、部員交流事業等の企画実施 商工会事業への参加協力 委まつりへの運営協力 【参加企業数】 152事業所	小規模事業者	指標	参加企業数 (達成度 76.0 %)		指標	%		地域商工業の発展を目的として、1年を通してさまざまな事業に取り組んだ。今年度は新たに、小学生を対象とした「地域貢献事業」を企画し、計画から実施までを行ったことで、地元子どもたちに学びの機会を提供することができた。次世代を担う子どもたちとの関わりを通して、地域とのつながりを深める取組となった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	必要性	目標①	目標②	地域の発展を目指し、今後も地元とのつながりを育む機会をさらに広げていく。
		目標数値		200	実績数値	152	目標数値	実績数値	目標達成度				B	A	下げる	下げる	実施方法①	実施方法②	
若手後継者等育成事業	青年部員が事業を計画し、各種団体と調整をし、地域振興となるイベントを実施する。1から事業を作る難しさや各青年部員が経験し、今後の自社事業に役立てることができると。	【地域振興企画イベント】 恋活パーティー 【参加人数】 36人 【男性】 19名 【女性】 17名	小規模事業者	指標	イベント参加人数 (達成度 120.0 %)		指標	%		青年部が主体となって新たなイベントを企画・実施し、将来的な人口増加を見据えた地域づくりのきっかけとすることができた。内容はすべて初めての取組であったが、部員同士で意見を出し合いながら準備を進め、多くの参加者も満足してもらった。内容においても、企画力や運営力を高める貴重な経験となった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価	調査結果	満足度	必要性	目標①	目標②	今回の経験を活かし、今後も地域課題に目を向けた新たな企画に挑戦する。部員の意見交換を重ねながら、さらに効果的で継続性のある取組へと発展させていく。
		目標数値		30	実績数値	36	目標数値	実績数値	目標達成度				A	A	現行どおり	現行どおり	実施方法①	実施方法②	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。